

# しまねの自然



## 世界ジオパーク認定10周年

大地と人、人と自然をつなぐジオパーク



ローソク島(隠岐の島町)



国賀海岸(西ノ島町)



赤壁(知夫村)



隠岐神社(海士町)

### 【お知らせ】

島根県自然公園協会  
施策に対する要望 環境省へ提出  
自然公園に関する講演会を開催 ..... 2

### 【お知らせ】

ワッペン、お宝 MAP を作成 ..... 3

### 【お知らせ】

三瓶自然館サヒメル 春の企画展 ..... 3

### 【コラム】

自然公園を活用した誘客促進補助金の活用事例 ..... 4

### 【コラム】

世界ジオパーク認定10周年 ..... 4

### 【自然観察会】

オオサンショウウオ観察会 ..... 5

### 【自然観察会】

苔ツーリズム創出 ガイド養成講座 ..... 5

### 【研修】

自然保護レンジャー研修会 ..... 6

### 【研修】

ネイチャー・フィーリング研修会 ..... 6

### 【コラム】

みんなで守る郷土の自然の新規選定 & 自然観察のススメ ... 7

### 【表彰】

表彰受賞者紹介  
西郷岬園地 海上保安庁表彰 ..... 8

### 【発行】

島根県自然公園協会

〒690-8501 島根県松江市殿町128番地 島根県自然環境課内  
TEL:0852-22-6517 FAX:0852-26-2142



# 島根県自然公園協会要望活動

～施策に対する要望書が環境省へ提出されました!!～

令和5年10月8日に、楢野会長が朝日健太郎 環境大臣政務官に要望書を手渡されました。

国立、国定公園などの歩道やトイレ、東屋などの整備や再整備を行う事業の予算増加や県立自然公園等への事業拡大、国立公園満喫プロジェクトに選定され先駆的な取組を行っている大山隠岐国立公園への継続支援などを要望しました。

要望書を受け取られた朝日政務官は、「国立公園は環境省の「1丁目1番地」と考えている。自然公園の保護、更なる利用に向けた取組を引き続きお願いしたい。」とコメントを頂きました。

要望書は、環境省国立公園課長等へも手渡しを行い、環境大臣等への要望書も預けました。



## 島根県自然公園協会 講演会

「保護と利用の均衡を図った新たな国立公園を核とした地域振興の方向」を開催しました

令和5年7月6日に、涌井史郎氏（東京都市大学特別教授）をお招きして、公園協会設立以来初めて講演会を開催しました。



涌井史郎氏は、国際博覧会 愛・地球博会場演出総合プロデューサーはじめ、国連生物多様性の10年委員会・委員長代理ほか、各種委員会組織などに多数関わっていらっしゃいます。また、2027年開催の国際園芸博覧会（「GREEN × EXPO 2027」）の総合監修というお立場もあり、大変お忙しい中、島根県にお越しいただきました。

当日は、参加された100名あまりの方々に対し「保護と利用の均衡を図った新たな国立公園を核とした地域振興の方向」をテーマに、ネイチャーポジティブ、30 by 30などの最近の動き、自然公園の活用などについてお話いただきました。

参加者からも「自然と観光を結び付けて考えることが今後につながることを念頭に仕事を進めていきたい」、「これからは成長ではなく成熟だという言葉が印象に残っている」、「初めて触れる知識や概念が多く学びの多い講演会だった」など感想をいただきました。

今後も定期的に、このような講演会を開催していきたいと思っております。



# 「守ろう！しまねの自然」ワッペン

当協会では、自然保護の啓発を行うためにワッペンを作成し、各市町村を通じて、自然観察会等の各種行事において参加者に配布しています。

今年度は、島根県の希少な野生動植物、5つのワッペンを増刷しました。



## しまねの自然 お宝 MAP

当協会では、県内各地での自然環境保護活動等に役立てていただくため、自然公園のほか自然環境保全地域、中国自然歩道、みんなで守る郷土の自然選定地などを1枚の地図にまとめています。

島根県には自然のお宝がたくさんあります。ですが、私たちは自らの手でそれらを危機的な状況に陥らせています。

豊かな自然を次世代につなぐため、普段の生活のなかにある「自然」や「生物多様性」に関心を持ってください。さあ、このMAPを手にも、行動しましょう!!



(しまねの自然お宝 MAP ホームページ)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/shizen/shimane/otakara/>



### 三瓶自然館 春の企画展

## なぜこうなった!? 鳥のくちばし展

開催期間 2024年(令和6年)3月16日(土)～5月26日(日)

**私**たちの身近にいる野鳥たち。鳥を見たことが無いという人はいないと思いますが、その「くちばし」をじっくりと眺めたことがある人は、どれくらいいるでしょうか？

春の企画展は、鳥たちの不思議でオモシロい「くちばし」に注目します。

「くちばし」のカタチは、種類によってさまざまです。細い、鋭い、ぎざぎざ、平べったい、長い、丸い、短い……。なぜ、そんなカタチになったのか？じつは好みの食べものや、食べ方によって特徴的な形状になっているといわれています。

カタチの理由や、そのくちばしの機能、役割などについて、たくさんの剥製と映像、パネル展示で楽しく迫ります。



サヒメルHP



# 島根県の「自然公園を活用した誘客促進補助金」を活用した自然体験プログラムの取組をご紹介します！

## 大山隠岐国立公園(島根半島東部)

～ジオパーク探検隊 カヤック体験ツアー～

松江市と出雲市の小学校高学年とその家族を対象として、大山隠岐国立公園の半島東部に位置する美保関町で片江湾と洞穴を巡るカヤックツアーを開催しました。

参加者は大山隠岐国立公園や島根半島・宍道湖中海ジオパークに指定される大地や自然の魅力を満喫しました。

実施団体  
島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会



## 蟠竜湖県立自然公園

～スポーツ自転車ライディングスクール～

益田市にある蟠竜湖県立自然公園で、自然を満喫しながらスポーツ自転車の魅力を学ぶライディングスクールが開催されました。参加者は、目線や体重移動、ハンドリング、ペダリングなどの技術を学んだ後、市内を流れる高津川などの美しい景色を楽しみながら、より楽しくかつ安全なサイクリングを体験しました。

実施団体  
株式会社サイクルセンター まつしま



令和5年9月

## 隠岐は世界ジオパーク認定10周年を迎えました！

隠岐ジオパークは平成21年10月に日本ジオパーク地域として認定、その後平成25年9月に世界ジオパーク地域として認定を受け、令和5年9月9日に認定10周年を迎えました。

隠岐ジオパーク推進機構では、世界ジオパーク認定10周年を記念し、記念シンポジウム、4島一斉清掃、記念イベントを開催しましたので、その様子をお届けします。

豊かな自然や人の営みが改めて世界に認められた隠岐ジオパーク。みなさんも、隠岐のあふれる魅力に触れてみませんか。



9月9日は隠岐の島町でシンポジウムとワークショップが行われました。

ワークショップ「ユメジマ」では、地元の高校生が主体となって隠岐諸島に見立てたジオラマを作成し、参加者は将来の隠岐の理想を旗にして島を飾りました。



隠岐の世界ジオパーク認定10周年記念一斉清掃が9月10日に行われました。

海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町の4町村で同時刻に海岸清掃が行われました。残暑が厳しい中、海士町は約20名、西ノ島町は約25名、知夫村は約25名、隠岐の島町は約70名が参加されました。



10月22日に「森フェス ヤッホー！森の未来・私たちの未来」が開催されました。森を身近に感じ、森の過去・現在を知り私たちの未来を考えるイベントです。講演会やミニ博物館、森のワークショップ、屋台など盛り沢山で、当日は700人を超える参加がありました。



斐伊川の支流である八代川には、オオサンショウウオが生息しています。子どもたちが通う布勢小学校のすぐそばの川でも確認できます。そんな身近にいるオオサンショウウオの観察会を年2回行っています。日本オオサンショウウオの会員や地域サポーターさんと一緒に川に入り、水中眼鏡やたもを使い、やなの中や水草に隠れているオオサンショウウオを探します。見つけると、その場所に目印をつけて捕獲します。個体確認のためにマイクロチップリーダーで過去の捕獲歴の有無を調べます。捕獲歴がある場合は、体長、体重、体の特徴などを調べ前回と比較しデータに残します。初めて見つけた個体はマイクロチップを挿入し子どもたちが名前（愛称）をつけます。「今年は〇〇ちゃんいるかな？〇〇くんだ！」子どもたちにとってオオサンショウウオは大好きな仲間です。

活動の中では、日本オオサンショウウオの会員から現状や保護の話を受けます。オオサンショウウオとふれあい、親しみをもち、オオサンショウウオのすみやすい八代川にすることの大切さを学習しています。（この活動は文化庁の許可を受けて行っています。）

**【お問い合わせ先】**

奥出雲町立布勢公民館 / 0854-54-1504



**八代川で観察 1**

事前学習で聞いた安全な捕獲の仕方でも…「確かここで見つけたことがあるぞ!」とタモや足を使って探しました。

**八代川で観察 2**

すまかにしそうな場所を探して…「みつけたあー!」子ども達の嬉しそうな歓声が上がりました。



**マイクロチップ確認・体重・体調計測**

新しく見つけた個体は子ども達が命名。以前名付けた個体の計測では「少し大きくなってよ!」「あっ新しい傷ができてる」など、よく観察しました。

江津市にある自然公園「観音滝」を始めとする市内の苔景勝地を活用し、苔の生産地として江津のPRを行うために、苔ツアーを開催できるような体制を作ることを目指し、苔ガイド養成講座を開催しました。

講師を招き、苔を解説するときのポイントやお客様に快適に過ごしてもらうための注意点について学びました。

江津苔生産者の会で作成したガイドブックには観音滝に自生している9種類の苔が紹介されており、参加者は苔を散策したりルーペを使って苔の観察をしました。

当講座には苔生産者や、市民の方も参加され、江津の「苔を魅せる生産地」としてのポテンシャルの高さを改めて認識した一日となりました。



**【お問い合わせ先】**

江津苔生産者の会事務局 / 0855-52-7493



# 島根県自然保護レンジャー研修会を開催しました!!

令和5年11月25日(土) 鳶巣コミュニティセンターと鳶ヶ巣山を会場に「登山時の安全管理」をテーマに自然保護レンジャー研修会を開催しました。

## 講習会

県から「鳶ヶ巣山」は県立自然公園の区域内にあり、この区域では工作物の新築や木竹の伐採行為などが規制されていること等を説明後、鳶巣CCの中島センター長より「鳶ヶ巣山」の概要や歴史について講義いただきました。

次に県警察本部より「登山届や遭難事故等の現状」について、県警が連携している「Compass」「YAMAP」を利用した登山届の提出方法や、提出された登山届の活用の流れ、県内での山岳遭難事故の現状や事例をお話いただき、リュックを使った遭難者運搬法も実演実習しました。

続いて、出雲市消防本部より「登山時に想定される応急方法等」について実技講習いただきました。心肺蘇生法の実技や「諦めずに行う！」事を伝えていただき、道具を使わない搬送方法や、通報には携帯電話の位置情報(緯度経度等)を伝えると現在地が分かりやすくて良い!という事も教示いただきました。



## 研修会

後半は出雲地区森林組合の竹下さんより「枯損木及び巡視に役立つ樹木の状態の見分け方」の野外研修を鳶ヶ巣山で行いました。

危険木の見分け方はいろいろあり、例えば「音」。木の幹を叩いてスカスカな音がすると、枯損木や虫食いの被害があることが分かります。次に「変化」。キノコが生えていたり木の表皮が剥がれ落ちていたりすると、木に力がなくなっていることが分かります。その他にも倒木や掛かり木など、注意が必要な点についても指導いただきました。

レンジャーさんからは「登山情報、救急対処、登山と多種の研修で良かった。」「県警の話がリアルで良かった。」などの感想をいただきました。

研修で得た知識や情報をレンジャー活動の中で活かせるような内容の研修会を今後も行って行きたいと思います。



## ネイチャ・フィーリング研修会を今年も開催しました



昨年度、大好評だった「ネイチャ・フィーリング研修会」を今年も大山隠岐国立公園の三瓶山を会場として、令和5年7月15日(土)・16日(日)の2日間にわたり開催しました。

ネイチャ・フィーリング研修会は、老若男女、からだが不自由な方も含め、誰とでも五感をフルに使って自然を観察し、感動を分かち合い、自然のしくみに気づき伝えあうことが特徴であり、知識に頼らない自然の伝え方を身に付けることを目的としており、今年度も約40名の方に参加いただきました。

研修内容には、「五感を使った自然観察」や「からだがない自由な人との観察会で配慮したいポイント」などがありますが、参加者の方からは「今までいかに視覚に頼って自然を見ていたかを自覚できた」「目では分からないこと(樹皮の感触、土の温度など)がたくさんあることに改めて気付いた」「植物の名前を知らなくても五感で十分に自然を楽しむことが出来ると知った」といった感想をいただきました。

県としては、今後もこのような研修会を開催し、愛する自然の魅力をより多くの方に伝えることができる人材育成に力を入れていきたいと思っています。



# みんなで守る郷土の自然の新規選定 & 自然観察のススメについて



## みんなで守る郷土の自然とは

島根県では、身近な生活環境の中にある動植物の生息地や地域住民のシンボルとして親しまれている自然環境を選定し、地域の自発的な保全活動を支援しています。地域コミュニティの自然保護思想の高揚を促し、住みよい地域社会が形成されることを期待しています。

これまでの選定地域などは、県HPをご参照ください。  
<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/nature/shizen/shimane/minnademamoru/>



**【R5年度選定地域】**  
 ・反辺のカツラ（出雲市）

- 自然観察をしてもらうためにリーフレットも作成しています。HPよりダウンロードできますので、イベント等でもご活用ください。

**自然観察フィールド**  
 見つけよう自分だけの自然観察フィールド

魅了UPのために、整備を実施してよ!

人と自然の共生の環境を創出して、島根県環境総合計画を推進しています!! 自然観察もその一つの取組です!!

**自然観察のススメ**  
 一観察ポイント一

- 1 感覚を研ぎ澄ませ! ~月夜を味わおう~
- 2 未来に残せ! ~スナップショットを撮りましょう~
- 3 疑問を持って! ~?は発見の第一歩~
- 4 名前にこだわらな! ~自然はつながりあって~
- 5 探らなくて! ~自然は思い通りに~
- 6 時期・時間を覚えて見よ! ~変化を楽しもう~

みんなでつくる身近な自然観察路とは?

- 中国自然歩道やみんなでつくる身近な自然観察路にも指定される雲南省の桜並木について、雲南省で以下の取り組みが行われています。

## 雲南省日本一の桜のまちづくりに向けたふるさと納税型クラウドファンディング

島根県雲南省には「日本さくら名所100選」の「斐伊川（ひいかわ）堤防桜並木」があります。斐伊川にそって2kmほど続く桜のトンネルは絶景で、中国地方随一。大正時代から、100年以上かけて先人たちがつくってきた大切な景色です。その桜を次世代に残していくために、クラウドファンディングを始めました。ふるさと納税で応援ができます。集まった寄付金は桜の管理や桜まつりの運営費として活用していきますので、雲南省の桜並木のためにご協力をよろしくお願い致します。

### 【ふるさと納税サイト】

<https://furusato-forgood.jp/projects/9a67d24c-9ec5-4124-b6d8-6b3dcf213742>

### 【お問い合わせ】

雲南省役所産業観光部観光振興課  
 TEL: 0854-40-1054 Mail: kankoushinkou@city.unnan.shimane.jp

ふるさと納税で応援をお願いします!!!

1万本の桜のまち。100年の歴史を次世代に

600万円

40,000円

寄付は1000円から可能です。(半円単位)

実行委員のメッセージ

1 2 3

ふるさと納税 for Good!



# 令和5年度 自然保護関係表彰受賞者一覧 (自然環境課)



## 環境保全功労者に対する知事感謝状

松江市 廣江百合子 さん

長年、島根県自然保護レンジャーとして、法吉北部地区の自然観察路の巡視や利用者へのマナー指導、環境保全・自然保護活動に尽力。



飯南町 山内 孝志 さん

長年、島根県自然保護指導員として、女亀山島根県自然環境保全地域の巡視や登山道の環境整備・美化活動、利用者へのマナー指導など自然保護活動に尽力。



## 地域環境保全功労者環境大臣表彰

松江市 國井 秀伸 さん

しまねレッドデータブック改訂委員として、県内の維管束植物の生育状況に関する調査、助言、協力のほか、希少野生動植物保護巡視員として希少野生植物の保全活動に尽力。



## 自然公園関係功労者環境大臣表彰

奥出雲町 福田 充雄 さん

平成14年より、水道施設、トイレ施設等の整備を行い、公園内の事故防止に努めるとともに、利用者へ自然の解説や公園の利用について指導を行うなど公園の適正利用の推進に尽力。



## 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

松江市 平田 寛容 さん

松江市 平田 節子 さん

大山隠岐国立公園島根半島東部地域をはじめ、県内の自然公園において、公園内のパトロール、施設の状況把握及び県へ報告など幅広く活動。加えてクリーン三瓶などの保全活動にも夫婦で積極的に参加し、地域の自然環境保護活動に尽力。



## 島根県各種功労者表彰(自然保護)

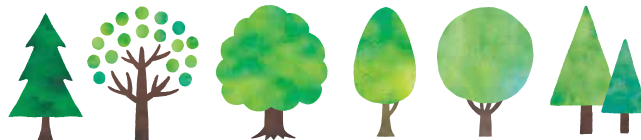
松江市 宮廻 茂美 さん

長年、県内各地の自然公園等におけるパトロールを実施し、利用者に対して自然解説や公園利用に係る指導を行い自然保護思想の普及啓発を図るとともに、自然保護や快適な利用環境の整備に尽力。



松江市 里山を育てる会

希少植物や里山の植物をまとめたガイドブックの作成、間伐材を利用した看板や手すり等の整備、市民の憩いの場として、田和山自然学習の森の展望台や休憩所の整備、維持管理の実施など自然保護活動に尽力。



令和5年

## 「灯台記念日」海上保安庁長官感謝状

～「西郷岬園地」の整備が表彰されました！～



隠岐の島町の南側に位置する「西郷岬園地」では、地元の方の協力を得て園地のパトロール、草刈り等を行うほか、駐車場の設置、灯台への遊歩道等の整備を行っています。

この度、西郷岬灯台を含む園地の環境整備に対して、灯台記念日である11月1日にあたり海上保安庁長官より島根県あて感謝状が授与されました。

